平成30年度(後期日程)

四国中央市職員採用試験

【第1次試験】

日時:9月16日(日)

9:00~9:30(受付)

場所:消防防災センター3階

大会議室

※一般事務職(障がい者)については、障がいの種別や等級などにより試験時間を変更します ※会場は応募人数によって変更する場合があります

【応募受付期間】 7月2日(月)~7月31日(火)

(平日の8:30~17:15)

※郵送の場合は7月31日(火)までの消印が

あるものに限り有効

【応募/請求/問い合わせ】

人事課 人事係 0896-28-6004 〒 799-0497 三島宮川 4-6-55

■jinji@city. shikokuchuo. ehime. jp ※内容の変更や追加などがあった場合は、市 ホームページに随時掲載しますので必ずご確認 ください

試験区分など

Market 11.00				
職種	試験 区分	採用予定 人員	対象生年月日	学歴資格など
一般事務職	初級	3 人程度	平成 5 年 4 月 2 日~ 平成 13 年 4 月 1 日	高等学校を卒業した方または、平成31年3月末までに卒業見込みの方(4年制大学を卒業または卒業見込みの方は除く)
一般事務職 (障がい者)	初級	1 人程度	平成元年 4 月 2 日~ 平成 13 年 4 月 1 日	高等学校を卒業した方または、平成31年3月末までに卒業見込みの方で次の二つの項目に該当する方 〇身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方で、自力(家族送迎も含む)で通勤ができ、介護者なしに業務遂行(1日7時間45分)が可能な方 〇活字印刷による出題に対応可能な方
技術職(土木)	初級	1 人程度	平成 5 年 4 月 2 日~ 平成 13 年 4 月 1 日	高等学校を卒業した方または、平成31年3月末までに卒業見込みの方(4年制大学、短期大学、高等専門学校または専修学校を卒業または卒業見込みの方は除く)
消防職	初級	3 人程度	平成 5 年 4 月 2 日~ 平成 13 年 4 月 1 日	高等学校を卒業した方または、平成31年3月末までに卒業見込みの方(4年制大学を卒業または卒業見込みの方は除く)で、普通自動車免許を取得または取得見込みの方
福祉職	上級	1 人程度	昭和 59 年 4 月 2 日 以降	社会福祉士または精神保健福祉士の資格を有する方また は平成31年3月末までに取得見込みの方

共通受験資格

- 〇日本国籍を有する方
- ○地方公務員法第16条の欠格条項に該当しない方
- ○市内に居住する方または、採用後市内に居住可能な方

初任給(月額)

上級:179,200円 初級:147,100円

※職歴などがある場合は一定の加算があります

合格発表

第1次試験については、10月中旬に合否を通知するとともに、市役所掲示板に合格者の受験番号を公告します。



「四国のまんなか 人がまんなか

~人を結ぶ 心を結ぶ あったか協働都市~」を目指す 四国中央市で働きませんか!



第1次試験

【内容】

- ○筆記試験
 - ア. 教養試験(全職種)
 - イ. 専門試験〔技術職(土木)、福祉職〕
- ○面接(全職種)
 - ※個人または集団のいずれかの方法
- 〇性格検査(全職種)

第2次試験

【期日】10月下旬の予定 【内容】

○面接試験

プレゼンテーション試験及び個人面接試験

※一般事務職(障がい者)は個人面接試験のみ

〇作文試験

※一般事務職(障がい者)は除く

○その他試験

消防職の体力試験

受験手続き

○申込書などの取得方法

申込書及び受験票は、6月1日(金)から人事課及び 川之江・土居・新宮窓口センターでお渡しします(市ホームページからダウンロードもできます)。

○申し込み手続き

申込書及び受験票に必要事項を記入し、人事課へ提出 してください。

郵送による申し込みの場合は、封筒の表に「受験申込」と朱書きし、必ず宛先を書いて82円分の切手を貼った返信用封筒(長形3号封筒)を同封し、簡易書留で郵送してください。

なお、簡易書留の控えは受験票が届かないときの確認 手段となりますので、受験票が届くまで大切に保管し てください。申し込み後、8月31日(金)までに受験 票が届かない場合は人事課へお問い合わせください。 ※市ホームページからの申し込みはできません

提出書類

- 〇四国中央市職員採用試験申込書(写真貼付)
- 〇受験票(写真貼付)
- ○申込書別紙及び身体障害者手帳などの写し〔一般事務職(障がい者)のみ〕

♪先輩からのメッセージ♪



消防二課 松浦竜生(市外出身)

中学生の時に東日本大震災 が発生し、現場で救助活動をす る消防士を見て消防士になろ うと決めました。

祖父が市内に住んでいるため、小さい頃からなじみのある土人のある土人のあるとや、地元よりもなられたさな四国中央市ならが、大きな四国のと思いるを表していると思いばならといるというできるというですが、というがいを感じています。



建築住宅課 大久保静香(市内出身)

県外の設計事務所で働いて いましたが、東日本大震災を 機に、災害時に建築士としい、 直接的に支援がしたいと思い、 市役所に転職しようと考身 した。そら助けたい、地元なら 大から助けたい、地元なら 土地勘があり、より役に立中 市役所に決めました。

就職活動をされるみなさん、 一緒に「みんなで守るまちづ くり」を考えませんか!